

**奈良市もてなしのまちづくり推進委員会**  
**【第3回会議録】**

- 1 日時** 平成21年10月20日（火）午前10時から
- 2 場所** 奈良市役所中央棟6F 第2研修室
- 3 出席者**  
【委員】 村上良雄委員長、根田克彦副委員長、奥西正博委員  
佐川肇委員、崎山昌彦委員、佐野純子委員  
中野聖子委員、中山徹委員、野原純子委員  
【市職員】 企画政策課長及び事務局
- 4 開催形態**  
公開（傍聴人0人）
- 5 会議次第**  
① 開会  
② 議事  
1. もてなしポイント部会報告  
2. 奈良市もてなしのまちづくり推進行動計画（案）  
③ 閉会
- 6 会議資料**  
資料1 もてなしポイント部会議事報告書【崎山委員作成】  
資料2 奈良市もてなしのまちづくり推進行動計画（案）  
資料3 もてなしのまちづくりに関する市民政策アドバイザーからの意見  
資料4 もてなし大賞 ホームページ内容案  
資料5 Joy!おもてなし国際交流パーティー推進事業【野原委員作成】

## 6 議事の要旨

本日はお忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。ただ今から、第3回奈良市もてなしのまちづくり推進委員会を開催させていただきます。本日の司会を務めさせていただきます、企画政策課の木村と申します。よろしく申し上げます。お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

→配布資料の確認。

### 【村上委員長】

皆様おはようございます。

それでは、次第に従って、もてなしポイント部会の報告について、崎山委員よりおねがいします。

### 【崎山委員】

→9月3日に開催したもてなしポイント部会について、資料1を用いて説明。

もてなしポイントのホームページ作成には、事務局より250万円程度の費用が必要になり、市の予算として確保が難しいと聞いている。また、奈良県ビジターズビューローというところが「奈良ファン倶楽部」を実施しており、取り組みとして重複してしまうかもしれない。

### 【村上委員長】

関連で、事務局よりホームページ作成について説明をお願いします。

### 【事務局】

→資料4～6についての説明。

### 【村上委員長】

今の時点で質問・意見はありますか。

### 【根田副委員長】

もてなしポイントの担当は、観光に関する課がするのですか。

### 【事務局】

まだ直接は話していません。もてなしポイントは観光に特化していますが、観光に

関する課がやるとは決まっています。

**【中山委員】**

見積もりについて、毎年 290 万円かかるということでしょうか。

**【事務局】**

見積もりの項目で維持費となっているものが毎年かかることとなります。

**【中山委員】**

年間という項目だけであれば、それほどかからないのではないのでしょうか。

**【事務局】**

2 年目以降の維持費がどれくらいかかるか、確認します。

**【村上委員長】**

検証までが初期費用で、年間の維持費そのものはそれほどかからないでしょう。

**【事務局】**

会議中に確認して、報告します。

**【崎山委員】**

ホームページの企画構成の費用は様々だと思います。業者によっては、もう少し安くなることもあるので、この見積もりはひとつの標準価格としてとらえるのが良いと思います。企画構成については、こちらからネタを出せば、もっと安くなるのではないのでしょうか。

**【中山委員】**

年間維持費の中に人件費をどれだけ見積もるかということも検討が必要だと思います。最初の 1 年目はお金があると思うが、それ以降はそんなにかからないと思います。

**【崎山委員】**

どこの課がどれだけ予算をとるかという話になってくるのでしょうかね。

**【佐川委員】**

行政がホームページを管理するのであれば、特定の業者の宣伝につながるのではな

いでしょうか。推進委員会の役割はどうなるのでしょうか。

**【崎山委員】**

行政が直接ホームページを管理するのは難しいとのこと。

**【根田副委員長】**

行政の関わり方について、何か他市町村の事例で参考になるものはないのでしょうか。

**【事務局】**

表彰制度の事例はあります。また、途中経過を発表すると、組織的に投票されたりして、公平性が保てない可能性があります。そういうものを行政が直接やるのは難しいです。

**【根田副委員長】**

他の事例を見てやり方を考えるのが良いのではないのでしょうか。

**【事務局】**

最終的に投票結果を参考に、条例の顕彰規定に則って表彰するのは可能ですが、途中で人気投票のような形になると、行政としては厳しくなります。

**【根田副委員長】**

その人気投票の中身をどうするかということを決めていかなければいけないのではないですか。

**【事務局】**

特定の事業者の名前を出すことが許されるかということ、奈良市が直接運営するのは厳しいと思います。

**【根田副委員長】**

やっているところはないのですか。

**【事務局】**

同じような事例を探しましたがありませんでした。

### 【野原委員】

民間ボランティア団体等を表彰するのはあると思いますが、企業を市町村が表彰するのはないと思います。もてなしというのは、1事業者自身ではなく、その事業者が立てたプロジェクトなどを評価するものだと思うので、特定の事業者名を出すのが行政として難しくても、市民がどう思うかではないでしょうか。

### 【村上委員長】

この委員会は、もてなしのまちづくり推進行動計画を市長に提言するまでが役割です。ここで定めた内容を実行するのは、新たに立ち上げる協議会になります。そのため、行政は調整するにしても、協議会を立ち上げの段階などに予算が必要かもしれませんが、直接実施する必要はありません。

協議会が実施するとして、行動計画の段階で実現可能なものを提案していく必要があります。今回は観光に特化してモデルケースとしてやることになっていますが、来年度予算は厳しい状況にある中で、政府は、唯一観光については、外国人の観光客を2,000万人に増やそうとしており、そのために4倍の予算をつけています。良いアイデアを出せばそのお金が流れてきます。行政よりも民間の団体がアイデアを出したほうが良いと思います。奈良市が予算を出してというふうに考えなくてもいいのでしょうか。どこかに委託することもできると思います。

### 【根田副委員長】

何か新しいことをしようとするといろいろな問題がでるのは当たり前です。その問題を出していったって検討していけば良いと思います。大きく、お金の問題、運営主体の問題に分かれます。お金の問題については、本気になるのであれば、最初の初期費用だけなんとかかしていただき、後は運営主体が考えることです。

運営主体については、市ができないとばかり言っていますが、では、どこならできるのか、どうやっていくのかを検討しているのでしょうか。

### 【事務局】

他団体には話していませんが、行政が所管して立ち上げるのが無理であれば、連絡協議会を立ち上げて、任意団体として奈良市が委託料をだしておねがいするということを考えていました。行政が主体となるといろいろとクリアしなければいけない問題があります。やっていただける団体があるとすれば、補助金か委託料かわかりませんが、それについても予算がつくかどうかという問題があり、絶対できるという確約はお示しできません。

### 【村上委員長】

事務局と我々との間に温度差があるようですが、他の審議会とか委員会では事務局案を出して、それを承認して終わりとなることが多い中、今回は、実際にどうやっていくかということまで考えています。実際にやっ払いこうとすると、事務局は企画政策課しかないと思います。自分がやるとなったとき、シミュレーションしなければいけません。動いてくれる団体を見定めて、お願いすることになります。この委員の皆様から、協議会に加わるかどうかはそれぞれの団体の判断になります。新たに、これまで議論していない団体の人が入って協議会を作るため、モチベーションを高めていくには時間がかかると思います。市の予算がないのならば、市がお金をとってくれば良いのです。NPO等も市町村を通じてやらないと動かないと思います。お金がないところをいかにやるのかというのが企画政策課ではないでしょうか。

### 【奥西委員】

県が10月22日に発表する緊急雇用・新規雇用を創出する事業提案で、募集対象は民間、NPOも入っているので、今回のもてなしポイントに活用できるのではないのでしょうか。

### 【村上委員長】

そのような情報は、行政の方が早いはずですが。緊急雇用の事業として予定して、団体から手を挙げてもらうという流れでも良いのではないのでしょうか。

### 【村上委員長】

本日の議題である行動計画の提案と野原委員の提案をお願いします。

### 【事務局】

→資料2の説明。

### 【野原委員】

→資料7の説明。

### 【佐野委員】

行動計画(案)のところで、子どもたちへの啓発活動について意見を出したと思いますが、他府県の副読本を見ると歴史・文化ではなく、観光とは何かから始まるものがあります。自分達の地域とは何か、子どもに何か気づいてもらうには、低学年から奈良の産業は観光ということを教えるいい教材になるのではないかと思いますので付け加えてください。

### 【中野委員】

スイスのツェルマットは、人口の 10 倍の観光客が訪れます。そこでは「地域学」の授業があり、現在のまちから遡って、自分の親世代が何を思ってまちをつくってきたかを教える授業をしています。そのため、子どもに染み付いており、何の疑問もなくこの地域がすばらしい、と伝わっています。自分達は、奈良ではそんな教育を受けていません。また、ある研究会に参加した時、観光地のポイントは、観光スポットだけでなく、そのまちの人がどれくらい面白いか、また市場や生活、暮らしをアピールする場がないといけないという話でした。奈良に来るとこれだけ外国人が集まる、というアピールがあった方が良くと思います。

### 【野原委員】

この月には集いがある、研修があるなど、たくさんの方が学ぶ場になればと思います。盆祭りもありますが、あまり知られていません。燈花会のようなものが身近にもっとあればと思います。

### 【佐川委員】

商工会議所では、韓国人の観光客向けにハングル文字を導入するなど、即対応しています。先んじて何かやっていただきたい。3 番手、4 番手ではだめだと思います。

### 【佐野委員】

赤い羽根募金が低迷しているそうですが、ガチャガチャを活用して都道府県の形のバッジに赤い羽根がついているというものが成功事例となっているそうです。これは行政の人のアイデアであり、こうすることで募金してくれる人が増えるそうです。このようなアイデアをうまく使えないでしょうか。年代関係無しにアピールするものが必要だと思います。

### 【佐川委員】

奈良には寺しかないという風に思われていると思います。本屋に行っても京都の本はたくさんありますが、奈良の本はほとんどありません。奈良にはこんなにおもしろい所がある、という発信が必要ではないでしょうか。

### 【事務局】

もてなしポイントの運営費用について、次年度からの費用についてはホームページの維持費について、年間 40～50 万円程度かかるということです。

### 【中山委員】

あまり総花的にやるのはどうでしょうか。3つか4つに絞って、これは絶対やるというものを決めたらいいと思います。あれもこれもやろうとすると大変です。奈良で1時間、時間ができた時に何をするかと考えると、例えば、ヨーロッパでは、教会で賛美歌を無料で聞けるところがあります。プロを呼ばなくても旅館やホテルで学生サークルの演奏が聞けるなどのプランはどうでしょうか。

外国人の評価と、一般の人の評価に分けて考えてはどうでしょうか。

### 【村上委員長】

計画には網羅的に書いても、実現性がありません。もてなす人たちを育てる教材になる冊子が必要との意見がありましたが、本来の行動計画とは別に、概要版として、これは確実にやりましょうというものを挙げるのはどうでしょうか。

### 【奥西委員】

ある程度絞っていきたいと思いますが、いろいろな情報発信をするための場の設定が必要だと思います。奈良にはおいしいものがある、めずらしいものがあるということについて、奈良市民がそれ自身を知らないで紹介できません。

### 【根田副委員長】

どこまで提言するのですか。具体的な実施計画までか、アイデア的なものでかまわないのでしょうか。

### 【村上委員長】

実際にやることになる協議会の人の方がわかりやすい方が良いでしょう。

### 【根田副委員長】

協議会が選ぶのであれば、あまり絞らなくても良いのではないのでしょうか。

### 【村上委員長】

委員会から市に提言をし、市が協議会に提言をどのように伝えるかです。先ほどでた、いくつかのポイントに絞った方が良いでしょうと思いますが、次回、行動計画（案）に書き込んでメールでもらいたいと思います。

### 【崎山委員】

部会でも3つに絞りたいという議論をしていました。先日、金沢に行ったのですが、駅がきれいでした。ただ、駅には奈良のパンフレットは一つもありませんでした。ま



ちづくりも小京都として分かりやすく、1日で名所を回ることができます。そして食べ物美味しかったです。奈良でも食べ物にこだわって欲しいと思います。大和野菜や栗など。奈良ではこれ、というものを発信していきたいと思います。

**【村上委員長】**

食に関して、具体的にアイデアはありますか。

**【崎山委員】**

野菜は良いと思います。

**【中野委員】**

真剣に農業のことについて考えないといけない時期だと思います。野菜、豚、米などたくさんあります。

**【野原委員】**

イチゴなどもあります。石川県ではずいぶん前から食談義をやっていました。奈良でもやっていますが、盛り上がっているかはわかりません。向こうでは、地域でイベントを行い、いろいろなアイデアが出されています。

**【崎山委員】**

「食」は奈良の一つの課題だと思います。カレーフェスティバルをやっていると思いますが。

**【中野委員】**

日本に最初にインド人が来たのが奈良で、天平時代にカレーを食べていただろうということを実施しているようです。若い人が多く参加しています。

**【野原委員】**

食を使ったまちおこしには、ラーメン、焼きそばとかいろいろありますが、カレー祭りとかないのではないのでしょうか。

**【崎山委員】**

金沢カレーなどはありました。

**【中野委員】**

奈良市には、インド人、スリランカ人等が多くいます。芋ほりをしたりして、交流

しているようです。

#### 【奥西委員】

ラーメンだったらここがおいしい、カレーだったらここがおいしい、などの情報が分かりにくいです。食べ物は観光の大きな楽しみの一つだと思います。

#### 【佐野委員】

奈良の6つのホテルが、和食ランチの提供をしており、スタンプラリーを実施しています。来るのは女性のグループが中心となっています。

#### 【中野委員】

昼の時間帯に2,000円で提供しています。

#### 【中山委員】

食事については、外国人の観光客だったらそれほど重要でないかもしれませんが、日本人が対象であれば奈良ならではの食べ物が必要です。

#### 【根田副委員長】

地産地消などを含め、食は教育でも必要だと思います。また、ローカルヒストリーのような事例を紹介するものがあると良いと思います。

#### 【村上委員長】

それでは、ポイントを絞りたいと思います。観光はもてなしポイントを中心に考えます。これについては、事務局には、まず実施することを考え、そのためにどうすればよいかを考えてください。市の予算ではない所からお金を取ってくることも必要だと思います。

教育は地域学の内容も含め、もてなし力を高めるためのものにしたいです。エコはどうでしょうか。

#### 【根田副委員長】

エコ、バリアフリーについては、全国的な課題となっています。これらを包括した形で1つの柱にしても良いのではないのでしょうか。

#### 【佐野委員】

鹿が草を食べることを草刈りの人件費に変えて考えてみる、というものがありません。これはエコにつながると思います。生活の中に鹿がフレンドリーに関わる魅力的

な場所として発信していくことができると思います。「Dear Deer」のキャッチフレーズは良く使われています。また、食については、他の場所にあるものでも、地産で奈良だからこそ美味しいというものが需要だと思います。

### 【根田副委員長】

奈良が地球環境に貢献しているということも重要だと思います。それぞれ担当を決めてアイデアをもらうのが良いのではないのでしょうか。

### 【村上委員長】

それでは、担当を決めていきます。

#### ① 観光【もてなしポイント等】

担当：(崎山委員、中野委員、奥西委員、佐川委員、佐野委員)

#### ② 教育【もてなしのための教育（地域学）】

担当：(佐野委員、野原委員)

#### ③ 食【地産地消、食の観光等】

担当：(崎山委員、中山委員)

#### ④ エコ【バリアフリー等】

担当：(佐川委員、中山委員、根田副委員長)

担当分野以外にも提案していただければと思います。事務局は行動計画を文書化してもらい、委員の皆様から上がってきたアイデアをさらに絞り込めるような形にさせていただくということでおねがいします。期限はいつまでがよろしいですか。

### 【事務局】

次回の会議として、12月8日（火）午前を予定しています。締め切りは11月23日（月）までにメールでおねがいします。

### 【企画政策課長】

本日はありがとうございました。本日の委員の皆様の見解を踏まえて、国・県の補助金などを利用してやっていければと思います。事務局が申したように、予算的には厳しいのが現状です。補助金探し、NPOや第3セクター、支援団体との協働でやっていくのが基本となります。やってやろうという団体があれば、協力していきたいと

思いますし、村上委員長がおっしゃったように、できないというより、どうすればできるかを考えていきたいと思います。

**【事務局】**

ありがとうございました。本日の会議を終了させていただきます。